



MEBIC
CREATIVE NETWORK CENTER OSAKA

2015年3月17日

my home town
わたしのマチオモイ帖

News Release

「わたしのマチオモイ帖展」会場に、初の「マチオモイラジオ局」オープン 「報道のプロからみたマチオモイ帖の魅力」など、クリエイターが発信

～29日(日)の最終日には、全国で広がる「地域メディア」をテーマにトークセッションを開催～

クリエイター(*)支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史、以下メビック扇町)は、3月6日(金)から29日(日)まで、同施設で「my home town わたしのマチオモイ帖 日本中がマチオモイ 2015 大阪展」(入場無料)「わたしのマチオモイ帖制作委員会と共催)を開催しています。今年は初めての試みとして、会場にマチオモイラジオ局の特設スタジオを設置。会期中、マチへの思いや制作にまつわるストーリーをインターネットで公開します。最終日には、全国で広がる「地域メディア」をテーマに、トークセッションを開催予定です。

*クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

「マチオモイ帖プロジェクト」は、日本各地のクリエイターが、それぞれ思い入れのある町やそこに住む人への想いを、冊子や映像に綴り、人々に届ける活動です。東日本大震災がきっかけで始まり、会を重ねるごとに共感が全国に広がり、総作品数は1000帖を超えました。

マチへの思いを全国に伝える放送局

でき上がった作品だけでなく、作り手の思いを知ってもらうために、作り手と関係者をゲストやパーソナリティとして会場に招き、「マチオモイラジオ局」として制作にまつわるストーリーを連日伝えます。会場に来ることができない人に対しても、インターネットで全国に放送し、過去放送分のアーカイブもサイトに公開。3月17日(火)には、「報道のプロからみたマチオモイ帖の魅力」をテーマに、MBS報道局『VOICE』『ちんぷいぷい』総合プロデューサー)の井本里士氏をゲストに招きます。

- 過去放送分は、ユーチューブで視聴できます
マチオモイラジオ
<http://www.ustream.tv/channel/machiomoi-radio/>

各地の発信者に聞く地域の価値や魅力とは？

最終日のトークイベントでは、独自の視点で地域の魅力を発信する「秋田」「岩手」「奈良」「福岡」「W E B」の地域メディアの仕掛け人たちが集まり、地域メディアのあり方や地域の魅力の伝え方などについて、参加クリエイターと一緒に考えるトークセッションを開催します。



「my home town わたしのマチオモイ帖」
日本中がマチオモイ 2015 大阪展 会場



公開インターネットラジオ
「マチオモイラジオ」特設ブース

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当:松井
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 関テレ扇町スクエア3F
TEL:06-6316-8780(平日10:00～21:30) FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com
ホームページ: <http://www.mebic.com/>
マチオモイ帖プロジェクトに関する詳細情報は、以下を参照ください。
わたしのマチオモイ帖ホームページ <http://machiomoi.net/>

■「my home town わたしのマチオモイ帖」日本中がマチオモイ 2015 大阪展 概要

*大阪以外の開催地と時期は、現在調整中です。

- 会期:2015年3月6日(金)～3月29日(日)(会期中無休)
平日:11:00～21:00 土日祝:11:00～19:00
- 会場:クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町
(大阪市北区扇町2-1-7 関テレ扇町スクエア3F)
- 入場料:無料
- 主催:
大阪市
公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町
わたしのマチオモイ帖制作委員会
- 協力:株式会社アートワークスタジオ 株式会社ナッシュスタジオ 株式会社モリサワ
みんなのダンボールマン 大阪市交通局(順不同)
- お問合せ:クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町
大阪市北区扇町2-1-7 関テレ扇町スクエア3F
TEL:06-6316-8780(10:00～21:30 土・日・祝日は休館)
E-mail:machiomoi@mebic.com

■マチオモイラジオスケジュール

※同封しております別紙スケジュール表をご参照ください

■クロージングイベント概要

日時:2015年3月29日(日)15:30～20:00

15:30～18:15 トークセッション

18:30～20:00 交流会

会場:トークセッション - メビック扇町 交流スペース3

大阪市北区扇町2-1-7 関テレ扇町スクエア3階

交流会 - 関テレ扇町スクエア1F アトリウム mouton otto

大阪市北区扇町2-1-7 関テレ扇町スクエア1階

内容とスケジュール:

15:00 開場

15:30 「地域メディアを語る」

スピーカー

藤本 智士氏 有限会社りす「のんびり」(秋田県)

木村 敦子氏 LLP まちの編集室「てくり」(岩手県)

前田 展広氏 株式会社シーズクリエイト「naranara」(奈良県)

酒井 俊哉氏 北九州市産業経済局観光にぎわい部「雲のうえ」(福岡県)

鈴木 菜央氏 NPO法人グリーンズ 「greenz.jp」(全国)

清水 榎行氏 マチオモイ帖制作委員会(大阪府)

コーディネータ

山納 洋氏 大阪ガス株式会社近畿圏部／common cafeプロデューサー

18:15 終了

18:30 交流会

20:00 終了

参加費:トークセッションー無料 交流会ー2,000円

定員:トークセッションー120名 交流会ー150名

■「地域メディアを語る」トークセッションスピーカープロフィール

藤本 智士氏 株式会社りす「のんびり」(秋田県)

編集者。1974年兵庫県生まれ。有限会社りす代表。雑誌『Re:S』編集長を経て、現在、秋田からニッポンのふつうを考えるマガジン『のんびり』の編集長を務める。また、吉本興業発行の『おおらかべ新聞』(大阪)など、編集を軸にローカルデザインを考える事例が話題に。全国でかべ新聞づくりのWSなども開催。編集・原稿執筆・旅のコーディネートなどを担当した『ニッポンの嵐』をはじめ、編集を手がけた書籍多数。著書に『ほんとうのニッポンに出会う旅』(リトルモア)、イラストレーター・福田利之との共著『BabyBook』(コクヨ S&T)。編著として池田修三作品集『センチメンタルの青い旗』(ナナロク社)など。また、写真家・浅田政志との共著となる『アルバムのチカラ』(赤々舎)が発売されたばかり。

<http://re-s.jp/> <http://non-biri.net/>



木村 敦子氏 「てくり」編集部(岩手県)

1968年盛岡生まれ。アートディレクター。

グラフィックデザインの個人事務所「kids」を営みながら、ライター仲間と共に「まちの編集部」を立ち上げ、2005年「てくり」創刊。以後年二回、『盛岡の「ふだん」を綴る本』として制作・発行を続ける。他に別冊として「光原社 北の美意識」「いわてのうるし」等がある。



前田 展広氏 株式会社シーズクリエイティブ CSR 室 顧問「naranara」(奈良県)

1977年京都市生まれ。京都産業大学卒業後、デザインスクールにて産学協同や運営業務に従事。

2011年、折込チラシの印刷所である株式会社シーズクリエイティブ(本社八尾)に入社後CSR室を設立、室長に就任。「新たな社会課題を生まないこと」「多様な関係性との対話」をテーマに各種プロジェクトを進める。奈良と外国人旅行者のあいだに幸せなしくみを作るパイリンガルフリーペーパー「naranara」元編集長。



酒井 俊哉氏 北九州市産業経済局観光にぎわい部「雲のうえ」(福岡県)

1965年福岡県北九州市生まれ。1988年関西学院大学経済学部を卒業後、北九州市役所に入庁。企画局高度情報化担当、広報室、経済局事業部などの広報系業務や、北九州メディアドーム建設、大規模イベントの企画運営などプロジェクト系業務を主に担当する。2005年から2010年までの5年間は、門司港レトロ地区の観光開発に携わり、休止中の臨港貨物鉄道の線路を再利用してトロコ列車を走らせる全国初の観光鉄道を事業化。当事業は「日本鉄道賞特別表彰」を受賞した。2013年からは「にぎわいづくり」担当として、民間団体主催イベントの支援や、祭り・行事の振興などとともに、市情報誌(フリーペーパー)「雲のうえ」の企画・制作業務に携わっている。また、仕事外でも地元まちづくり団体関係者と協働で、SNSを活用したグルメイベントの企画実施等にも取り組んでいる。



鈴木 菜央氏 NPO 法人グリーンズ「greens.jp」(全国)

NPO グリーンズ代表 /greens.jp 編集長 76年バンコク生まれ東京育ち。2002年より3年間「月刊ソトコト」にて編集。独立後06年「ほしい未来は、つくろう」をテーマにしたWebマガジン「greens.jp」創刊。千葉県いすみ市在住。家族4人で35㎡のタイニーハウス(車輪付き)にて、小さくて大きな暮らしの実験中。著作に『「ほしい未来」は自分の手でつくる』(講談社 星海社新書)。



清水 枢行氏 マチオモイ帖制作委員会(大阪府)

大阪生まれ。「すべてはデザイン」という考え方で横断的にデザインプロジェクトを実践する。APEC 奈良観光大臣会合レセプション インタラクティブデザイン、グランフロント大阪 ナレッジキャピタルV.Iデザイン、「my home town 私のマチオモイ帖」「デザインマルシェ」「Social Propose クリエイターが社会に対してできること」ディレクター、東北グランマのXmas オーナメント、フクシマオーガニックコットン等の復興支援プロジェクト等、個展「ステカン展」。CS デザイン賞大賞、NY ADC 特別賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞受賞。(公社)日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA) 運営委員、大阪芸術大学デザイン学科非常勤講師。



山納 洋氏 大阪ガス(株)近畿圏部 / common cafe プロデューサー

1993年大阪ガス(株)入社。神戸アートビレッジセンター、扇町ミュージアムスクエア、メビック扇町、大阪21世紀協会での企画・プロデュース業務を歴任。2010年より大阪ガス(株)近畿圏部において都市開発、地域活性化、社会貢献事業に関わる。2014年より大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 都市魅力研究室長を兼務。一方でカフェ空間のシェア活動「common cafe」「六甲山カフェ」、トークサロン企画「Talkin' About」、まちあるき企画「Walkin' About」などをプロデュースしている。著書に「common cafe一人と人が出会う場のつくりかたー」(西日本出版社)、「カフェという場のつくり方」(学芸出版社)がある。

